

## 高次脳機能障害のある患者の転倒予防に対する教材開発

当院の研究責任者（所属）	渡辺 翔子（栃木医療センター看護部2階病棟） 手塚 早紀（栃木医療センター看護部2階病棟）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>栃木医療センターでは入院時に転倒転落に関する意識調査の実施、転倒転落予防策の説明をおこなうことで患者家族へ転倒転落に対する意識づけをおこなっている。当科は脳神経外科という特色から麻痺や歩行障害のある患者が入院しており他科と比較し介助が必要な患者が多く入院している。入院患者の中には高次脳機能障害を有する患者もおり、その場合危険認知が困難であることが多い。高次脳機能障害とはいえ障害の程度や症状は多岐にわたり一見健全に見える患者でも細かく評価を行うことで症状を把握することができる場合がある。このため患者の障害に応じた転倒転落予防策を実施していく必要がありカンファレンスを通し予防策の検討をおこなっている。しかし、病棟看護師の多くが経験年数5年以下でありカンファレンスの発言から患者の理解度や認知機能についてのアセスメントが不十分であり経験年数により転倒転落に対するアセスメントの差が生じていることが明確である。今回高次脳機能障害のある患者の転倒予防に対する教材を開発することで経験年数によるアセスメントの差をなくし統一した転倒予防が行えるようにしていく。</p>
調査データ該当期間	2019年4月～2020年3月の期間の情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる職員</li> </ul> <p>病棟看護師の内、看護経験3～5年目の看護師10名程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●利用する情報</li> </ul> <p>電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。</p>
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	<p>電話：028-622-5241(代)</p> <p>担当者：渡辺 翔子（栃木医療センター看護部2階病棟）</p>
備考	